

校長室より

「天空高き」



第143号



令和3年3月1日

祝卒業一心の遊びを一

卒業生の皆さんは高校生活で一番充実した大切な1年間を、新型コロナウイルスによって長期の学校休業を余儀なくされ、運動会などの学校行事や各種大会、演奏会が中止に追い込まれました。

残念で辛い日々ではなかったかと思います。

先般、新型コロナウイルスに感染した重症者を受け入れている医療現場の様子がテレビで放映されていました。

医療従事者は我々の命を守るために、最前線で活動されています。肉体的にも精神的にも極限の状況にありながらも、治療中の医師がこのように発言されていました。「このような極限状況だからこそ、ユーモアは必要です」と。

ところで、皆さんは一般の車のハンドルには“遊び”があることを知っていますか。

車のハンドルは、少し操作しただけですぐにはタイヤの角度が変わらないようになっています。これがハンドルの“遊び”です。

遊びがないとちょっとハンドルを切っただけでタイヤが動いてしまい、非常に運転しにくく危険です。また、一般道を走行するときは道路の凸凹（でこぼこ）でタイヤが動き、その振動がハンドルに伝わりハンドルがいつも震えてしまうので、“遊び”が必要です。

ハンドルの“遊び”がないと、危険であったり、快適な運転が難しかったりします。ですから、ハンドルの“遊び”が必要なのです。

コロナ禍の医療現場においても、医療従事者は、一瞬の気も緩めることのできない緊張の連続です。だからこそ、心の遊び、ユーモアが必要だと、その医師は言いたかったのだと思います。

人生はボートを漕ぐようなものだ



私たち日本人は勤勉で真面目です。何事に対しても手を抜くことなく一所懸命に取り組んでいます。しかし、変化が激しく、科学や技術の進歩が速い複雑な現代社会の中、多様な人々と仕事や人生を乗り切っていくには、車のハンドルに遊びが必要のように、私達も考え方や心にもどこか、心の遊び、ユーモアを持つことが大事ではないでしょうか。

皆さんの人生は、皆さん一人ひとりが創っていくものです。

皆さんの人生の行き先は誰も分かりません。途中下車もできません。後戻りもできません。皆さんの前にレールが敷かれている訳でもありません。皆さんのレールは自分自身で敷いていくしかありません。ですから、過去に捉われることなく、未来を怖れることなく、今を、前向きに、全力で取り組みながらも、時に心の遊び、ユーモアを忘れないでください。

長い人生です。時に悩んだり、つまずいたりすることもあるでしょうが、決して皆さんは一人ではありません。家族が、友達が、多くの仲間が皆さんを見守ってくれています。

卒業生の皆さん、今日がゴールでそして新たなスタートです。皆さん一人ひとりが力強く旅立ち、その前途に幸多からんことを祈念します。

リスクマネジメントーコロナ禍の中でー

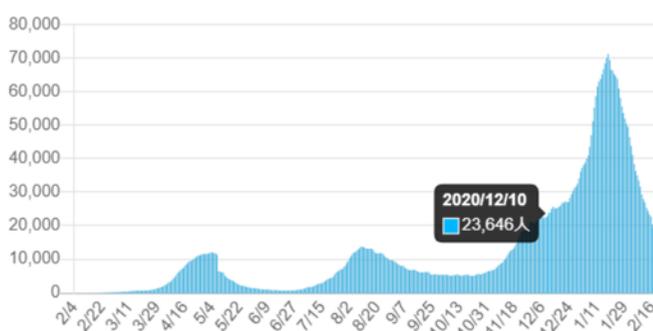
リスクとは、今、現在の危険ではなく、将来起こりうる被害の大きさを示しています。リスクマネジメントとは、リスクが起こった場合の損害を最小限に抑えるために対応することです。ですから、事前にリスクを回避するための措置と、実際に起こった場合の対応策の2つの側面を持ちます。

リスク管理のポイントは、いかにリスクを日頃から低減しておくかです。

3月、4月は就職や進学の関係で移動の多い時期です。2月下旬の段階ですが、1都、2府、7県で緊急事態宣言が発令されています。日中を含め、不要不急の移動の自粛が求められています。しかし、皆さんの中には緊急事態宣言が発令されている地域へ移動したり、そこに住まないといけない場合が出てくるかもしれません。

そこで大事なことは、リスクをできるだけ抑えるために、あなた自身がどのような感染防止対策を立てて行動しているかです。また、感染防止のマニュアル通りの対策を取る場合でも、その原理（しくみ）を理解した上で、状況に応じて対策のレベルをリスクに合わせていくという視点も必要です。

飛沫感染や接触感染のリスクについて皆さん一人ひとりが正確に理解して、無症状



新型コロナウイルス国内感染者数

であっても感染者がいるかもしれないと考えて、マスクの常時着用や特に食事時には私語を慎むなど、油断をしない対策が重要です。

感染リスクをまったくゼロにすることはできませんが、対策を十分にとった上での結果なのか、対策を十分にしなかったことの結果では、同じ結果でも大きな意味の違いがあります。

「こうすれば問題はない」と自分自身がリスクの判断を下せるようにできることが、コロナ禍だけに限らず、これからの時代ととても大切になります。

春の足音—どこで感じる?—

この時期になると、至る所で春の足音を聴くことができます。

耳を澄ませば、鳥の鳴き声に、目を大きく開けば、樹木につぼみのふくらみを、林を通り抜けていく風の中に春の香りが、肌に当たる日の光に、春の予感を感じる取ることができます。

今年の冬は厳しい寒さが続いたからこそ、一刻も早く春の訪れを待ち焦がれます。

皆さんもお昼休みに校内を散策してください。家の周辺を散歩してください。春の訪れを五官で感じ取ってください。



蠟梅(ろうばい)

字は体を表す—丁寧に心をこめて—

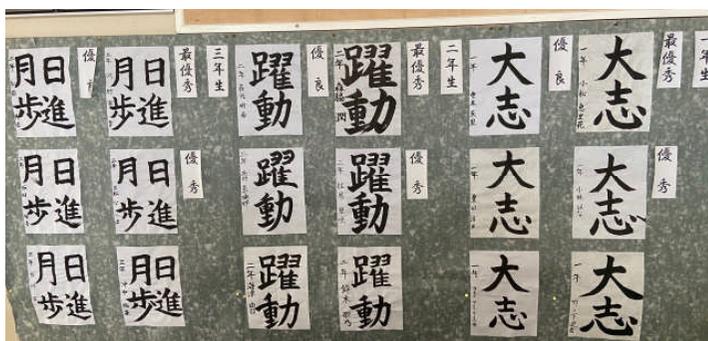
付属中恒例の第15回書初め大会の入選作品です。

ひとり一人、丁寧に心をこめて書いています。

ある本からの引用です。

「文字はすべて、この一の組み合わせなんだよ。だから、素晴らしい—を書ける人間に素晴らしい字が書けないわけがない。

書けないのは、格好いい字を書こうとか、見本通りに書こうと思うからで、一本一本思いを込め、愛を込めて書くだけで、自分にしか書けない素晴らしい字が出来上がる。このことは、人間の生活すべてに当てはまることなんだよ」



文字は言葉と同様に、人に伝えるものです。自分だけがわかっていても意味はありません。いつも正確に丁寧に書く習慣を心掛けてください。

近年、PC や携帯電話の普及に伴い、字を書く機会が激減しました。手紙はメール

になり、履歴書も PC で作成、学校の通知表も手書きではなくなりました。しかし、手紙をもらった時に、手書きの文字の持つ温かさなどはやはり PC の文字では味わえません。

文明の発達とともに、失われていくものと新しく生まれるものがありますが、高校生まではできるだけ手書きの習慣を大事にしてください。

3月の月間目標

一歩前へ

令和2年度
チャレンジ目標

- 1 5分前考動
- 2 整理整頓
- 3 先に元気な挨拶
- 4 1%を誰かのために

3月1日に卒業式が行われ、3年生の諸君は次のステップに向けて旅立っていきました。

2年生の皆さんは最上級生になります。後輩の範となるよう、文武に取り組んでください。

1年生の皆さんは、4月に後輩が入学します。先輩としてしっかり後輩の面倒をみてください。

昨年、2月28日から新型コロナウイルス感染防止のために小・中・高で全国一斉臨時休業になりました。今も感染は拡大していますが、ワクチン接種が開始されます。令和3年度はアフターコロナとなるよう、まず私たち一人ひとりが、コロナのリスクを正確に理解して、決して油断することなく予防対策に取り組み、コロナを学校から、地域から、日本から追い出していきましょう。私たちが結束して取り組めば必ず実現することができます。まず、その第一歩を踏み出していきましょう。

二十四節気

啓蟄（けいちつ）3月5日

啓蟄とは虫が冬眠から目覚め活動を始める頃という意味です。実際に虫が活動を始めるのは日平均気温が10℃を超えるようになってからで、鹿児島では2月下旬、東京や大阪で3月下旬、札幌は5月上旬頃に当たります。虫が冬眠から目覚めるとそれを補食する小動物も冬眠から目覚め動き始めます。

春分（しゅんぶん）3月20日

冬の寒さも和らぐ頃で、昼と夜の長さがだいたい同じ日になりますが、春分と秋分では気温に大きな差があります。これは、太陽の日の照らし方だけで気温が決まるのであれば同じになるのですが、地球上の空気が温まったり冷えたりするのに時間がかかることによります。そのため、冬から迎える春分の日より、夏から迎える秋分の日の方が気温が高くなります。岩国市の場合、春分の最高気温の平年値は約14℃ですが、秋分は約27℃です。『暑さ寒さも彼岸まで』と言われていますが、春分の日が彼岸入り、3日後が彼岸明け、春分の日を中日として前後3日間が春のお彼岸となり、春分の日ころからいっそう暖かさが増していきます。立春から約1カ月が過ぎ、暦の上では確実に春に向かっていきます。

お天気.com